

【舟橋村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

令和元年12月、GIGA スクール構想に向けた大臣メッセージ「子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けて」の中で、1人1台端末を始めとする ICT 環境は、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びにも寄与するものであり、特別な支援が必要な子供たちの可能性も大きく広げるものである、と述べられている。また、令和3年3月の中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育の構築を目指して」では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させること、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。

本村では、「ふなはし『学び合い』スタイル」を設定し、小中9年間の連続した学びの中で、「生きる力」の習得を目指して取り組んでいる。そして、「生きる力」としてとらえられている資質・能力である「生きて働く『知識・技能』の習得」、「未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等』の育成」、「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』の涵かん養」を図っている。そして、これらの実現に向けて、ICT の活用は重要な役割を担っている。1人1台端末をはじめとするICT環境を積極的に活用し、多様な他者と協働しながら粘り強く挑戦し続ける児童生徒の育成を目指す。

2. GIGA第1期の総括

1人1台端末の整備および校内通信ネットワーク(Wi-Fi)の整備を令和5年度中に完了した。これに伴い、端末の利活用が可能となったため、授業支援システム、ICT 学習ソフトを導入したことにより、利活用率は向上している。しかし、教員の ICT 技能や子供の実態などにより利活用に差があり、有用な活用ができていない学級があるという課題もみられる。そのため、GIGAスクールサポーターやICT支援員のサポート受けて、ICT 機器の操作習得のための研修を行ったり、ICT推進教員を中心とした授業での活用研修などを行っている。

3. 1人1台端末の利活用方策

- (1) ICT支援員とGIGAスクールサポーターの配置を継続し、校内研修会を定期的に行い、タブレット端末を日常的に活用できるよう、教員のICT活用スキルの向上を図っていく。

- (2) 児童生徒が「調べる」「まとめる」「発表する」などの場面において、1人1台端末を積極的に活用できるよう、各教科や単元で活用できる場면을明確にし、指導計画に位置付けるとともに、積極的な活用を図るようにしていく。また、AIドリルを活用し、個々の進度に応じた学習を進めることができるように支援する。
- (3) 児童・生徒が様々な課題を抱える中で、誰一人取り残さないことを徹底していく。やむを得ず登校できない児童生徒への対応については、同時双方向型のウェブシステムを活用し、オンラインでの学習を促すとともに、家庭でAI学習を進めるための課題を配信するなどの指導を行っていく。また、児童生徒の身体的、精神的な変化を早期に発見し、適切な支援につなげるためのICTの活用も積極的に進める。